

アジャイル開発をトータルサポート

## アジャイル開発コンサルティングサービス

日立の専門技術者によるアジャイル開発の導入教育や実践のコーチング、アジャイル開発の導入に伴う社内規約整備・標準化のコンサルティング、スクラムチームを構成する要員提供など、アジャイル開発の導入から定着までをトータルに支援します。

3つのアプローチでアジャイル開発を支援します。また、リモート対応も可能です。

### Coaching コーチングサービス

導入教育や実践のコーチングなど導入から定着まで日立の専門技術者が支援します。

### Methodology Consulting メソドロジーコンサルティングサービス

アジャイル開発の導入に向けた社内規約の整備や標準化を支援します。

### Co-creation 協創メンバー提供サービス

スクラム推進に不足している要員を提供します。



## 社内規約整備の支援や技術支援で アジャイル開発導入から定着までをトータルサポート

### ●サービスのメリット



アジャイル開発プロジェクトを早期に立ち上げることができます。  
スクラムチームへの要員提供や、コーチによるプロジェクト立ち上げ支援、DevOps環境の構築支援などにより、アジャイル開発プロジェクトを早期に立ち上げることができます。



本格的なアジャイル開発を実践できるようになります。  
「認定スクラムマスター(CSM)\*」資格保持者をはじめとする日立の経験豊富な技術者が、プロジェクトに参画して開発や進捗をサポートすることで、アジャイル開発を実践できるようになります。



自組織にアジャイル開発を導入できます。  
アジャイル開発の技術者を育てるだけでなく、従来のウォーターフォール開発が前提となっている社内規約をアジャイル開発向けに見直すことで、組織としてアジャイル開発を進めやすくなります。

\*認定スクラムマスター(CSM):スクラム関連の認定資格や研修プログラムを提供する国際組織Scrum Allianceが認定している資格。CSMはCertified ScrumMasterの略。

## サービスの特長

それぞれのサービスを単独でもご利用できます。

### ● コーチングサービス

「認定スクラムマスター(CSM)」資格保持者をはじめとする日立の経験豊富な技術者が、お客さまのアジャイル開発導入および定着を支援します。アジャイル開発の実践に必要な知識を短期間で習得できる導入教育や、DevOps環境構築の支援のほか、プロジェクト立ち上げ時のルール、開発中の進行方法などについて、チームに最適なアドバイスをを行います。

### ● メソドロジーコンサルティングサービス

アジャイル開発の推進や標準化に向けた規約策定の支援、DXの進捗度・課題の可視化から課題解決の支援を実施します。

- 日立の「HIPACE\*1(アジャイル開発版)」に集約されるアジャイル開発のノウハウやコンサルティング経験をもとに、社内規約の整備や標準化に向けた取り組みやアジャイル開発を推進する組織の立ち上げを支援
- プラットフォームデジタル化指標\*2を用いてDX進捗度やITシステム課題を可視化し、課題解決に向けてプロセス面で支援

\*1 HIPACE(ハイペース)：システムを効率よく開発し、高品質なITサービスを提供するために体系化された日立のシステム開発方法論。1979年から各種システム開発に適用し、現在まで内容の改変・拡張を重ねている。「HIPACE(アジャイル開発版)」は、中でもアジャイル開発に特化して整備した開発方法論。

\*2 プラットフォームデジタル化指標(PFデジタル化指標)：2020年に独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した、現行ITシステムのDX対応状況について技術面から評価するための指標で、ITシステムの対策要否について判断材料になるもの。

### ● 協創メンバー提供サービス

スクラムチームに必要な「プロダクトオーナー(以下、PO)補佐」「スクラムマスター」「開発者」を、お客さまのニーズに合わせて、要員提供します。おもな支援内容は、以下の通りです。

- PO補佐：業務量が多いPOの作業(バックログリファインメントなど)を支援
- スクラムマスター：スクラムが上手く回せるようにチームをリード
- 開発者：スクラムのフレームワークに沿ったプロダクト・サービス開発を支援

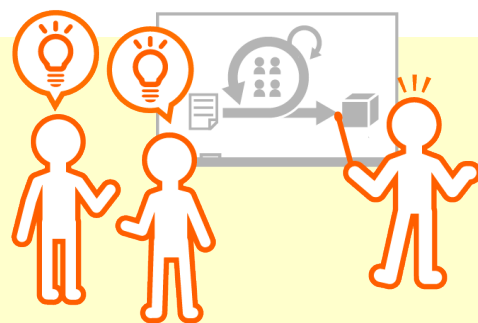
## 活用イメージ

アジャイル開発の導入過程におけるさまざまなシーンで活用できます。

#### ◆ アジャイル開発の進め方がわからない。

##### コーチングサービスを活用

プロジェクトに日立の専門技術者がコーチとして入り、アジャイル開発の基本をお伝えするとともに、アジャイル開発の進め方をコーチングします。プロジェクトを通じて、お客さま自身でアジャイル開発を実践できるようになります。



#### ◆ 自組織にアジャイル開発を導入したい。

##### メソドロジーコンサルティングサービスを活用

企業としてアジャイル開発を導入するには、単純に開発手法を変えるだけでなく、既存の社内制度や規約、体制、開発環境なども含め、アジャイル開発のやり方に対応させていく必要があります。アジャイル開発の導入を検討したいが、何から始めてよいかわからないというお客さまに対し、アジャイル開発導入の目的と課題の明確化、具体的な方針と対策案の策定、その結果を踏まえた社内ルール・開発環境の整備、実案件での試行までを支援します。



- CSM, Certified ScrumMasterは、Scrum Alliance, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせは下記へ

■ 日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト  
<https://www.hitachi.co.jp/appsdiv/>

